



おかやま環境ネットワーク

NO.70
2013.3

NEWS

発行:(財)おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7
TEL/FAX 086-256-2565
E-mail:kankyounet@okayama.coop
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

第10回おかやまホテルフォーラム開催報告

11月17日、総社市立総社北小学校にて開催し、75名が参加されました。

地元団体「夢づくりクラブ」鶴崎さんの司会で、おかやま環境ネットワーク・青山勲理事長から、おかやホテルフォーラム10年を記念しての開会挨拶、片岡聡一総社市長の来賓挨拶に引き続き、各団体や学校から、ホテルの保護、復活、再生活動をとおした環境保全活動の取り組みの交流をすすめました。



報告②『ホテル復活事業と環境整備について』
武内立爾氏・酒津のホテルを親しむ会 (右)



報告④：『ホテル再生の年間活動』
鶴崎治成氏・夢づくりクラブ

※午後から総社北公園内青谷川を視察する予定でしたが、大雨のため中止しました。



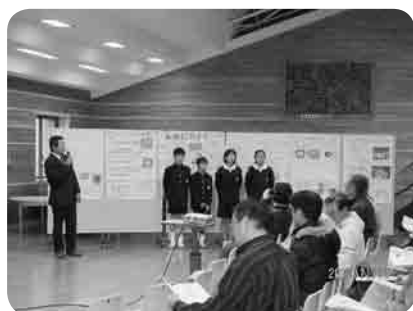
『おかやまホテルフォーラム10年をふり返る』
青山勲理事長



報告③：『矢掛高校での取組』
室貴由輝氏・岡山県立矢掛高等学校教諭

【参加者の感想】

- ・皆さんの熱心な活動に感心しました。ホテルの養殖のことばかり考えていましたが、生態系・環境問題等もっと考えなければならぬと改めて感じました。
- ・大変よかったです。特に酒津のホテルを親しむ会の武内会長の発表が大きな問題を提示したと思います。今後も理解を得ながら発展させたいと思います。
- ・各団体の報告も内容が充実していた。
- ・地元小学生による発表が大変よかったです。
- ・いずれも熱心な研究成果の発表で、皆様のご努力に感動しました。



報告①：『ヒイゴ湿地を守ろう』
総社市立総社北小学校
6年生児童



会場展示

2012年度『市民のための環境講座』開催報告

◆第2回

『原子力発電と放射能問題』

9月1日、岡山大学社会連携本部本部長（おかやま環境ネットワーク理事長）・青山勲氏を講師に開催し、41名が参加されました。

原発事故を正しく理解するために、原子力発電の原理、事故はどのように起こったか、放射性物質、放射能、放射線とは何か、放射線の人間に及ぼす影響などについて、分かりやすい解説がありました。



青山勲氏

◆第3回『岡山県下の水環境の現状をインターネットで知る方法』

10月6日、岡山理科大学理学部教授（おかやま環境ネットワーク理事長）・野上祐作氏を講師に開催し、16名が参加されました。

水質汚濁防止法に基づいて岡山県が公共用水域の水質をモニタリングしており、その測定結果を用いて自分が住んでいるところの水環境の現状を知る方法などについての解説がありました。



野上祐作氏

◆第4回『自然エネルギー技術の研究開発と地域社会への導入』

10月14日、名古屋大学大学院環境学研究科准教授・高野雅夫氏を講師に開催し、41名が参加されました。

将来のエネルギービジョン、ピコ水力発電、地中熱利用と太陽光発電、バイオガス、木の駅プロジェクトと薪ボイラーなどについてのお話があり、エネルギーの地産地消、千年持続可能な社会についての考え方について解説がありました。



高野雅夫氏

◆第5回『エコロジカル・フットプリントの考え方と応用事例』

11月10日、同志社大学経済学部教授・和田喜彦氏を講師に開催し、22名が参加されました。

エコロジカル・フットプリント指標の考え方や、応用事例を紹介されました。現状は、環境容量（環境収容力）を超えた資源消費（生態系サービスの消費）が行なわれている状態であり、永続的、持続的ではなく、大崩壊の到来の恐れもあるとし、経済活動の永続性を保障するためには、自然資本の自己再生能力・廃棄物処理サービス供給能力（自然所得供給速度）と経済活動による自然資本のサービス利用速度（自然所得の需要速度）とのバランスがとれている必要があるとの解説がありました。

◆第6回『環境問題を捉える視点』

12月1日、吉備国際大学国際環境経営学部長（おかやま環境ネットワーク理事）・井勝久喜氏を講師に開催し、31名が参加されました。

環境問題の解決が難しいのは人により環境問題の捉え方が違っているためであり、環境問題の本質を見据え、本当の豊かさとは何かということについて考えながら、環境問題の解決策について参加者全員で議論しました。



井勝久喜氏

◆第7回『生物多様性の意味について』

1月12日、岡山県立大学名誉教授・伊藤國彦氏（おかやま環境ネットワーク評議員）を講師に開催し、30名が参加されました。

生物多様性の意味について、絶滅危惧昆虫の保護活動や、外国（アフリカ、南米、ロシアなど）で観察した野生動物や昆虫と、人間との係わり合いなどから解説がありました。



伊藤國彦氏

体験プログラム④ 『アマモ再生教室』

- ①. 開催日：10月23日（火）
- ②. 場 所：笠岡市神島・見崎公会堂
- ③. 参 加：23名
- ④. 主 催：(財) おかやま環境ネットワーク、
生活協同組合おかやまコープ井笠エリア

当日は、森中憲治次氏（神島見崎里浜づくり代表）より、アマモの解説と育苗キットの製作方法の説明を聞いた後、4班に分かれ1人各2セットを作りました。

まず、海砂を生分解性植生容器に入れ空気を抜き、アマモの種を20粒まき、その上に海砂を被せ、海水を入れたビンに、生分解性植生容器を漬けました。

最後に、浅野甘喜夫氏（日本カブトガニを守る会笠岡支部副支部長）から、アマモの役割などについて解説があり、質疑応答を行いました。



◆参加者感想

- ・未来の人達に豊かな海を受け継いで欲しいものです！こんなに大変で素晴らしい活動を今まで知らず…
- ・一人でも多くの方々にお知らせしてゆきたいです！
- ・アマモの必要性がよく分かりました。収穫の大変さ、植付けの大変さが分かり、海の大切さがよく分かり大変勉強になりました。今後も意識して今回のアマモを大切に育て、植付けしていきたいと思いました。
- ・アマモが海に及ぼす影響がよく分かりました。今日植えたアマモが上手く発芽するように毎日見守りたいと思います。
- ・家庭で里海を守る取り組みのお手伝いができる…とても素晴らしいと思います。簡単にできるので、この取り組みが広がっていったら良いなと思いました。

体験プログラム⑤ 『アマモ種まき体験』

- ①. 開催日：10月27日（土）
- ②. 場 所：日生町漁協並びに周辺海域
- ③. 参 加：45名
- ④. 主 催：(財) おかやま環境ネットワーク、
岡山県、日生町漁協、NPO 法人里海づくり
研究会議、生活協同組合おかやまコープ

当日は、6班に分かれ船に乗り、6月中旬に種を取り、10月上旬に選別した「アマモの種」を船の上からまきました。アマモは地下茎と種子によって繁殖しますが、今回は天然アマモ場から採取した種を船上から直接まき、岡山県水産課職員が海に潜り、まいた種の上に砂をかぶせました。

種をまいた後、NPO 法人里海づくり研究会議田中丈裕事務局長から、アマモの役割、アマモ場の回復状況などについて解説があり、質疑応答を行いました。

◆参加者感想

- ・実際に種をまかせて頂き、日生のきれいな海、豊かな海を守り育てていく活動にこれからも協力していきたいと改めて思いました。
- ・今までは机上で学習するのみでしたが、実際に種まきに参加させて頂き、また、関わっておられる方々のお話を直にお聞きできるということは本当に分かりやすく、身近に感じられることもあり、とても勉強になりました。
- ・目で見て体験してみると、その土地への想いも増すと思いました。
- ・実践したことでより一層身近な事として感じる事ができました。また、自分たちの地域や暮らしとの関係なども考えながら、学習を深めていけたらいいと思います。



体験プログラム⑥ 開催報告

『アマモ苗定植体験』



- ①. **開催日**：1月13日（日）
午前5時50分から
- ②. **場所**：笠岡市神島・見崎公会堂と海岸
- ③. **参加**：35名
- ④. **主催**：(財) おかやま環境ネットワーク、生活協同組合おかやまコープ井笠エリア
協力：神島見崎里浜づくり、日本カブトガニを守る会笠岡支部、神内小学校

当日は、森中憲治次氏（神島見崎里浜づくり代表）より、アマモの苗の定植方法の説明を聞いた後、海岸に移動し、10月に作成し、各自自宅で育ててきたアマモ苗を定植しました。



アマモ苗



アマモの中にいたタコ

第四回おかやま環境 シンポジウム開催報告

廃棄物や地球温暖化など今日の環境問題は、私たちの日常生活や通常の事業活動に起因するとともに、様々な環境問題が相互に関連し合っていて生じています。このような課題を解決し、自然と共生する持続可能な社会を実現するためには、従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムや生活様式、さらにはこの根幹をなす「価値観」の早急な転換が求められています。

このため、一人ひとりが様々な環境問題に関心を持ち、これを総合的にとらえ、正しく理解し、自らの生活や活動において環境への負荷の低減に自主的・積極的に取り組むきっかけをつくることを目的に開催し、41名が参加されました。

- ①. **日時**：1月26日（土）
13時～16時
- ②. **内容**
 - ・基調講演『震災がれきは廃棄物政策の構造欠陥をあばく』
中嶋信氏・徳島大学名誉教授



- ・報告『近所に産廃がやってくる！』河原慎司氏・御津の「みどり」と「清流」を守る会事務局



- ・報告『海のごみはどこから来る？～高梁川流域での調査から～』塩飽敏史氏・(公財) 水島地域環境再生財団



- ・報告『女子中学生・高校生が取り組む瀬戸内海の海底ゴミ問題』井上貴司氏・山陽女子中学・高等学校地歴部顧問



- ・報告『“CO₂の見える化カーボンフットプリント”から見る廃棄物』仲井俊文氏・株式会社サンキョウ-エンビックス・環境経営支援室エキスパート



- ③. **参加者感想**
 - ・中嶋先生のお話がめあたらしく、力強く思えた。地域の力を大きく伸ばしていくことが必要であり、環境問題は政治問題である。
 - ・中嶋先生から自助・共助・公助のあり方を教えてもらい、大変参考になった。
 - ・それぞれの発表も皆さんが頑張っておられることがわかり、それなりに影響を受けました。
 - ・シンポジウムの内容は、これからの社会を問うのに良い内容だと思った。物事は言うだけでなく、実行力が必要だと思う。

田中 敦子

環境を大切に思う思いをつなごう

住んでいる「まち」を災害が襲い、福島第一原発事故によって放射能に汚染され、私たちは環境が瞬時に壊されることを体験しました。他方、私たちのエネルギー使用による「地球温暖化」は、台風の巨大化、集中豪雨の姿となって現れ、徐々にその現象が通常になりつつあることを感じます。

私はこの夏ほど節電したことはありませんでした。これまではエアコンを省エネタイプに替え、少し温度設定に配慮する程度でしたが、今回は必要最低限度のエネルギー使用にしようと消せるものは徹底的に消していきました。電気使用量は激減し、これまでどれだけ意識が甘かったかを知ることにもなりました。

私はかつて、生協で環境活動に取り組む人たちに初めて出会い、少しずつ環境が壊されていることを自分でも感じるようになりました。「地球温暖化」のもたらす変化について、沖縄のもずくを生協が取扱い、産地である恩納村の漁協で取り組んでこられた、サンゴ礁の再生事業を知ることによって、実態の深刻さと保全活動の必要性を学びました。生協では親子で恩納村のサンゴ礁再生事業を学ぶ企

画が行われるようになり、環境を大切に思う人たちが増えてきていると思います。

また、沖縄産のもずくを購入すれば、1パックあたり1円の、サンゴ礁再生事業に生かされる募金をするというしくみが生まれました。商品を利用することによって、環境保全活動に消費者が参加するというしくみは、より多くの人たちの環境を大切にする思いをつなぐことになると感じています。



消費者が環境の変化を感じ、環境について学習し、環境を保全する活動が行われていることを知る。環境を保全する活動に消費者が商品を選択することによって参加する。商品を選択するたびに環境保全活動に参加し、貢献していることを意識する。一つの学習から、さらに環境に関わる問題意識が強まり、環境問題について関心が高まるようになる。そういう機会の積み重ねがとても大切なのだと思います。

私自身のこの夏以降の節電の取り組みは続いています。自分のラ

イフスタイルを見直し、環境を保全に参加しようという意識が強くなると、こんどはもう逆戻りはないと思います。確かに原発事故の衝撃から省エネ行動に拍車がかかったというように自分自身の消費行動の変化を感じていますが、これまでの環境に関わる学習の機会の積み重ねが、私の消費行動、保全活動への参加を続けるパワーになっているのだと感じています。

おかやまコープは、岡山県、日生町漁協、NPO 法人里海づくり研究会議と、4者で「アマモ場造成活動に係る協定」を締結し、2012年5月14日に調印式が行われました。この協定は、岡山県が日生沖で取り組んでいるアマモ場の再生事業を支援するものです。生協が各団体・組織とともに環境活動に取り組み、各団体・組織と意見交流し、組合員や消費者に発信し、さらにいただいた意見を活動に活かすというサイクルをつくる。環境を大切に思う思いをつなげ、行動や形にしていくことで広がっていくことを実感しています。



アマモ場造成活動に係る
協定調印式

田中 敦子 氏

生活協同組合おかやまコープ
有識者理事(財)おかやま環境ネットワーク
評議員

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

2013年度『市民のための環境講座』

	日程	テーマ	内容紹介	講師	時間・会場
1	7月27日 (土)	里海とは… 人と海のつながり	瀬戸内海は古来より人間生活とのつながりが緊密で、水産物を生む漁業生産力は国際的に見ても飛び抜けて高く、多島海の穏やかな景観も高く評価されてきました。瀬戸内海と世界の海を比較しながら、里海について「人と海のつながり」の観点から考えます。	広島大学名誉教授 松田治氏	10時～12時 オルガ 地下ホール
2	8月10日 (土)	里海の生き物たち ～海の幸の生態 おもしろ話	地元で獲れる魚を地元で消費し、地域の食文化を活性化させることは、元気な里海づくりにつながります。普段の食卓を賑わす海の幸の知られざる生態、知っているようで知らない身近な里海のおもしろ話を紹介します。	独立行政法人 水産大学校 理事長 鷺尾圭司氏	10時～12時 オルガ 地下ホール
3	9月7日 (土)	岡山県日生の歴史 が育んだ里海像	地先の海をベースとした様々な活動を通じ、全国規模の沿岸環境関係者とのネットワークを築いてきた日生の漁師達。これまで長きに亘って自ら積極的に海に関わり、“人と海との共生”を果たしてきた彼らの史実を紐解きながら、その里海像を紹介します。	九州大学大学院 工学研究院 准教授 清野聡子氏	10時～12時 オルガ 地下ホール
4	10月12日 (土)	市民のための里 海創生論	里海を実現し維持するためには、生物多様性の源となる窒素やリンなどを、途切れることなく海域に循環させ、多くの生物が食物連鎖で繋がるようにする必要があります。都市部に暮らす人々が里海とどのように付き合えば良いのか一緒に考えましょう。	九州大学応用力学 研究所 教授 柳哲雄氏	10時～12時 日生町漁協 ※別途アコモ 種別企画有
5	9月28日 (土)	環境問題を捉える 視点	環境問題の解決が難しいのは人により環境問題の捉え方が違っているためです。環境問題の本質を見据え、本当の豊かさとは何かということについて考えながら、環境問題の解決策について議論します。	吉備国際大学 国際環境経営 学部長 井勝久喜氏	10時～12時 オルガ5階 スカーレット
6	10月26日 (土)	原子力発電と放 射能問題	原発事故を正しく理解するために、原子力発電の原理、事故の原因、放射性物質、放射能、放射線とは何か？ 人間に及ぼす影響について、分かりやすく解説します。	岡山大学名誉教授 青山勲氏	13時～15時 オルガ5階 スカーレット
7	11月30日 (土)	岡山県下の水環 境の現状を知る	水質汚濁防止法に基づき岡山県は水質をモニタリングし公開しています。そのデータから自分が住む地域の水環境の現状を知る方法を伝授します。	岡山理科大学 理学部教授 野上祐作氏	10時～12時 オルガ5階 スカーレット
8	12月14日 (土)	生物多様性の意 味について	絶滅危惧昆虫の保護活動や、アフリカ、南米、ロシアなどで観察した野生動物や昆虫と、人間との係わり合いなどから生物多様性の意味や意義を考えます。	岡山県立大学 名誉教授 伊藤國彦氏	13時～15時 オルガ5階 スカーレット
9	1月25日 (土)	人間活動が地球 に与える影響	人類社会が持続するためには、[人間活動量] < [生態系の能力] が根本条件です。人間活動量をエコロジカル・フットプリントといい、その指標の考え方を説明します。	元岡山大学准教授 白井浩子氏	10時～12時 オルガ5階 スカーレット

※1～4回の講座は、共催:NPO 法人里海づくり研究会議、協力:生活協同組合おかやまコープとして開催します。
また「岡山県生涯学習大学連携講座」として開催します。

●会 場：オルガ 岡山市北区奉還町 1-7-7 ※10/12(土)のみ 会場：日生町漁協、申込：9/30(月)までをお願いします。

●受講料：無料

●必ず事前にお申込みください。定数を超過し参加いただけない場合のみ連絡します。

※お預かりした個人情報は、本事業以外には使用いたしません。



公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町 1-7-7 (オルガ 6階)

TEL/FAX : 086-256-2565

E-mail : kankyounet@okayama.coop

切り取り線

2013年度『市民のための環境講座』参加申込書

ふりがな 氏名												住所	〒																						
電話												FAX												E-mail											
申込日に○を	7/27		8/10		9/7		10/12		9/28		10/26		11/30		12/14		1/25																		



公益財団法人おかやま環境ネットワーク

『環境活動交流会』のご案内

～県下の環境と環境に関わる活動について、語り、考えましょう！～

岡山県下で環境活動を行う団体や個人が集い、日ごろの活動を紹介してさらなる活性化、相互のネットワーク形成をめざし開催します。前半を2012年度助成団体からの報告・講評、後半はいろいろな団体の実践事例を紹介し、これまで出会っていなかった人、団体、取り組みなどとつながる“ネットワークづくりの場”となることをめざします。

一般の方、活動をすすめている方、有識者や様々な団体、取り組みなどと“出会い”“つながり”“ネットワーク”をひろげましょう！

- ◆日時：6月15日（土）13時～16時
- ◆会場：オルガホール（岡山市北区奉還町1-7-7）
- ◆定数：100名
- ◆参加費：無料 ※資料の準備の都合上、事前にお申してください
- ◆申込：6月7日（金）までに下記「参加申込書」で、
または下記「参加申込書」の内容をご連絡ください。
- ◆スケジュール（予定） 12：30～受付
 - ・13：00～ 開会挨拶
 - ・13：10～ 2012年度助成団体活動報告（10分×6団体）と講評
 - ・14：30～ 休憩（会場内団体紹介ブース交流）
 - ・14：45～ おかやま環境ネットワーク取り組み紹介
 - ・15：00～ 県内各団体による環境活動事例紹介等
事前公募の各団体から10分程度、実践事例を紹介していただきます。参加者間の情報交換をすすめます。
 - ・16：00 終了



※2014年度助成事業への応募を検討されている皆様は是非ご参加ください。

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7（オルガ6階）

Tel・Fax：086-256-2565

E-mail：kankyounet@okayama.coop

※お預かりした個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

----- 切り取り線 -----

6/15 環境活動交流会 参加申込書

フリガナ 氏名		電話 番号	
住所	〒 -)		
E-mail		所属 団体名	※個人の方が記入不要です

団体活動紹介 申込書 (先着6団体、※2012年助成団体以外)

団体名		フリガナ 担当者名	
連絡先 電話		E-mail	

※お申込みいただいた団体には事務局から詳細について別途ご連絡させていただきます。

『未来に残したい岡山の 自然・生き物写真コンテスト』

◆◆◆◆◆ 募集要項 ◆◆◆◆◆

2013年4月、おかやま環境ネットワークは公益財団法人に移行します。その記念事業として『未来に残したい岡山の自然・生き物写真コンテスト』を実施します。

撮影した人も、その作品を見た人も環境問題の関心を高めるきっかけを提供することを目的とし、応募作品は、環境家計簿カレンダーや財団発刊の広報物に掲載させていただきます。

◇要項

- ①. **テーマ**：四季の美しい風景、豊かな自然やそのなかで生きる野生動植物の姿、人と自然のふれあいなど、目と感性で見つけた未来に残したい「岡山の自然」。
- ②. **応募方法**：下記要件を満たした画像データをインターネットメール送信又はCD-R、DVD-Rにコピー（1作品あたりメディア1枚に記録して、氏名を油性マジックで明記）して郵送ください。1人、何点でも応募できますが、受賞対象は1件のみとします。
 - ・400万画素以上を目安としてください。ファイル形式：JPEGのみ。
 - ・1作品あたりのファイルサイズ：5MB以内（大きい画像は5MB以内に圧縮）
- ③. **応募締切り**：2013年7月26日（金）必着
- ④. **表彰内容**：最優秀賞1件（図書カード1万円分）、優秀賞6点（図書カード5千円分）
- ⑤. **審査**：8月開催理事会にて審査し、入選作品についてはその旨通知します。審査結果に関するお問い合わせはお受けできません。
- ⑥. **注意事項**
 - ・応募作品は未発表のものに限ります。他のコンテストなどに応募中（応募予定）、又は過去に入賞した作品は応募できません。ただし、応募者本人の製作による市販目的のない出版物や本人のホームページに掲載した作品、審査のない写真展に出品した作品は応募できます。
 - ・応募作品に使用される著作物、肖像については応募者本人が著作権を有するもの、又は権利者から事前に使用承諾を得たものであるものとします。被写体に人物が含まれている場合は、事前に承諾を得るなど肖像権の侵害等が生じないように、応募者本人の責任においてご確認ください。応募作品に関して法律上の問題が生じた場合、応募者の責任及び負担において、その一切を解決するものとします。
 - ・全入賞作品の使用権は主催者に帰属し、各広報媒体などへ無償で使用させていただきます。
 - ・データを記録したメディア、デジタルデータの返却はしませんので、必ずバックアップを残した上で応募願います。作品の受領通知は行いません。応募に伴い発生した費用は応募者が負担するものとします。送付中の事故や破損については、その責任を負いかねます。
 - ・入賞作品の利用に際し、印刷等の都合上、入賞者の意図する色調や表現が厳密に再現できない場合があることを予めご了承ください。
 - ・個人情報の取り扱いについて：ご記入いただいた個人情報は、本コンテストを運営するために必要な範囲で使用させていただきます。広報物に使用する作品には撮影者の氏名や市町村名を明示させていただく場合があります。
 - ・必要事項記入済みの応募用紙（HPからダウンロードしてください）を同封・貼付してください。記入事項：
①作品のタイトル、②郵便番号、③住所、④氏名・ふりがな、⑤年齢、⑥職業、⑦電話番号、⑧E-mail（お持ちの方）、⑨作品撮影地・撮影年月日を明記し、1点ずつ作品に貼付してご応募ください。⑩「作品を通じて伝えたい環境への想い（200字以内）」は特にない場合、ご記入いただかなくても結構です。なお、⑩以外にご記入もれがあると入賞の対象外となることがありますので、ご注意ください。

◇作品送付先 ※お預かりした個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

公益財団法人おかやま環境ネットワーク ※2013年4月に公益財団法人に移行します。

〒700-0026 岡山市北区奉還町一丁目7-7

Tel・Fax：086-256-2565 E-mail：kankyounet@okayama.coop

HP：http://www.okayama.coop/kankyounet/

『未来に残したい岡山の自然・生き物写真コンテスト』応募用紙

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

作品のタイトル		
〒 —		
住所		
ふりがな 氏名	年齢 歳	職業
電話番号		
E-mail		
作品撮影地		
撮影年月日		
作品を通じて伝えたい環境への想い：200字以内 特にない場合、ご記入いただかなくても結構です。		

※お預かりした個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

2013 年度第 1 回体験プログラム

『高島干潟 いきもの観察会』

～干潟の役割とその大切さを実感しよう！～

新岡山港のすぐ南にある高島は、豊かな児島湾のシンボルとして古くから市民に親しまれてきましたが、その高島の東側には、潮が引くと広大な干潟が出現します。

干潟に棲むいきものたちが、汚れた水を浄化する作用を担っています。干潟を失うことは、必然的に、その浄化作用を失うことを意味します。この海辺教室では、実際に干潟の中に入り、そこに棲むいきものたちと触れ合うことで、五感を通して豊かな「多様性」を感じるとともに、自然環境について考え、姿を消しつつある「干潟の役割」や「水の中の命のつながり」について考えます！

夏休みを利用して、この高島の干潟でいきもの観察をしませんか。一見何も無いように見える干潟ですが、実はいきものがいっぱいいます。干潟に触れられるチャンスです。ぜひご参加ください！

◆開催要項（予定）※参加者には、別途詳しい案内、集合場所の地図を郵送します。

- ①. 日程：5月6日（月・振替休日） ※小雨決行、警報発令時は中止します。
 - ・集合 13：00 新岡山港・両備運輸棧橋集合（12：45～受付）
 - ・解散 16：30 予定 ⇒前後する場合があります
- ②. 場所：児島湾高島干潟（新岡山港すぐ南の小島）
集合場所：新岡山港・両備運輸棧橋集合
- ③. 内容：干潟の生きもの観察
- ④. 講師：齊藤達昭氏（岡山理科大学理学部准教授）、吉鷹一郎氏（関西高校教諭）
- ⑤. 対象：小学4年生以上の方（小中学生は保護者同伴）、大人のみ参加は可
- ⑥. 定員：40名（応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先。参加可否は郵送にてご連絡します）
- ⑦. 参加費：1人500円（渡船代として、おかやま環境ネットワーク個人会員は無料、お申込後のキャンセルはご遠慮ください）
- ⑧. 持ち物・服装：飲み物、タオル、長袖・長ズボン、帽子、汚れてもよい靴、靴下、履き替え用の靴、軍手
- ⑨. 申込：4月12日（金）までにおかやま環境ネットワークへ
- ⑩. 主催：旭川源流大学実行委員会、公益財団法人おかやま環境ネットワーク
協力：岡山理科大学環境教育地域支援研究会、岡山野生生物調査会



◆お申込・お問合せは

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町一丁目7-7

Tel・Fax：086-256-2565

E-mail：kankyounet@okayama.coop

※お預かりした個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

切り取り線

『高島干潟 いきもの観察会』 参加申込書

代 表 者	フリガナ 氏名	年 齢	歳	電話 番号		
	おかやま環境ネットワークの個人会員ですか				はい ・ いいえ	
	住所	(〒 -)				
	フリガナ 氏名	年 齢	歳	フリガナ 氏名	年 齢	歳
	フリガナ 氏名	年 齢	歳	フリガナ 氏名	年 齢	歳

公益財団法人おかやま環境ネットワーク・NPO 法人里海づくり研究会議

2013 年度 『市民学習講座』

～瀬戸内海岡山県沿岸における水環境の実態とその維持、改善方策～

	日 程	テ ー マ	講 師
1	6月29日 (土)	岡山県沿岸における水環境、海岸災害 (高潮、津波) の実態	奥田節夫・ 京都大学名誉教授
2	7月27日 (土)	河口、沿岸における藻場、干潟の変遷と その維持、保全計画	田中丈裕・NPO 法人里海 づくり研究会議理事
3	8月10日 (土)	貝殻利用による水産環境の改善効果	鳥井正也・ 岡山県農林水産部水産課

※本講座は、NPO 法人里海づくり研究会議と共催で開催します。

- 会 場：オルガ5階スカークレット（岡山市北区奉還町 1-7-7）
- 時 間：13時30分～15時30分
- 受講料：各回 500 円
- 必ず事前にお申込みください。定数（40名）を超過し参加いただけない場合のみ連絡します。

※ NPO 法人里海づくり研究会議（特定非営利活動法人として、2012年1月12日に設立）

代表者：奥田節夫・理事長

設立目的：沿岸海域の実態把握や修復・改善、沿岸海域の適切な利用のために必要な調査研究に関する事業を行い、里海づくりに関する技術の開発や普及などを通じて、学術と地域の経済や文化との融合を図り、沿岸環境と人間社会の共存に寄与する。



公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町 1-7-7

TEL/FAX：086-256-2565

E-mail：kankyounet@okayama.coop

※お預かりした個人情報は、本事業以外には使用しません。

----- 切り取り線 -----

2013 年度 『市民学習講座』 参加申込書

ふりがな 氏名	住所	〒			
電話	FAX				
E-mail	申込日に○を	6/29	7/27	8/10	

2013年度第2回 体験プログラムご案内

『ウミホテル夜間観察会』

いきもののいのちの大切さ、自然環境のすばらしさを実感し、自然の役割や海の現状など、暮らしと自然環境の密接な関わりを学びます。

- ・日時：7月13日（土）
19：00～22：30
- ・行先：倉敷市大浜海岸
- ・内容：ウミホテルなど生物観察
- ・講師：吉鷹一郎氏
（関西高校教諭）
- ・定員：バス（オルガ集合）40名、応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先、参加の可否は郵送にてご連絡します。
※当選者には詳細案内を郵送します。
- ・申込：6月21日（金）までに参加者名・年齢・連絡先住所・電話番号を郵送、ファックス、Eメールのいずれかでお申送ください。申込後のキャンセルはご遠慮ください。
- ・応募資格：小学4年生以上の方、未成年者は保護者同伴、大人のみ参加可
- ・参加費：1人1,000円（年齢関係無）、おかやま環境ネットワーク個人会員は無料

ホテル団体交流会の ご案内

団体あるいは個人でホテルの保護、復活、再生を通し、環境保全活動をすすめる取り組みの交流をすすめています。

4月20日（土）10～12時、オルガ4階会議室にて開催し、県内各地の取り組み交流をすすめます。どなたでも参加できます。

※参加される際には、資料の準備のため事前にお申送ください。

2013年度第3回 体験プログラムご案内

『田んぼの生き物学校』

田んぼのたくさんの生き物を実際に目で見て触れ、生きものを育む豊かさを知り、豊かな自然の中で作られた地元産米の安全性や環境保全の大切さ、棚田の多目的な役割を学びます。

- ・日時：7月21日（日）
8：30～13：30
- ・行先：久米郡の北庄棚田
- ・内容：田んぼの生き物調査、棚田維持の取組学習など
- ・定員：バス（オルガ集合）40名、現地集合20名、応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先、参加の可否は郵送にてご連絡します。
※当選者には詳細案内を郵送します。
- ・申込：6月28日（金）までに参加者名・年齢・連絡先住所・電話番号を郵送、ファックス、Eメールのいずれかでお申送ください。申込後のキャンセルはご遠慮ください。
- ・応募資格：小学3年生以上の方、未成年者は保護者同伴、大人のみ参加可
- ・参加費：1人500円（年齢関係無）、おかやま環境ネットワーク個人会員は無料

公益財団法人に 移行します

おかやま環境ネットワークは2013年4月に公益財団法人に移行します。

※2013年度事業のご案内には、公益財団法人と表記しています。

おかやま環境シンポジウム 当日配布資料について

おかやま環境シンポジウム当日配布した資料を会員の皆様へ同封しています。ご査収ください。

ニュースへのチラシ等の 同封に関するお知らせ

おかやま環境ネットワークで年4回（5・7・11・3月発行予定）会員の皆様にニュースを発送していますが、会員団体の各種イベントのチラシ等を同封することができます。

同封希望がありましたら、発行前月の第2週末までに事務局へご連絡ください。

※メールニュースは毎月第2・4水曜日を基本に発行しています。メールニュースへの掲載希望がありましたら、毎月第2・4月曜日までに原稿を事務局に送信ください。

◆訃報

当財団で2011年度まで理事としてご活躍いただきました、エコネットワーク津山・副理事長の波々部郁子様が2月7日に永眠されました。

永い間、いろいろとお世話になり、ありがとうございました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

.....

2012年度会費をまだ納付していない皆様に振込用紙を同封しております。お振り込みくださいますよう、お願いいたします（入れ違いでお振り込みいただいておりますらご容赦ください）。

会費は、企業・協同組合：1口2万円、団体・NPO法人・個人：1口2千円、1口以上をお願いいたします。※2013年度会費につきましては、できるだけ4月1日以降にお振り込みくださいますよう、お願いいたします。

.....

■お問い合わせは (財)おかやま環境ネットワーク

〒700-0026
岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)
TEL/FAX 086-256-2565
E-mail:kankyounet@okayama.coop
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/